大学番号：私立２００

［令和２年度設置］
計画の区分： 学部の学科の設置

届出

名城大学　理工学部　環境創造工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名城大学
令和２年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　経営本部総合政策部　課長
職名・氏名　鈴木千敏（スズキチトシ）

電話番号　０５２-８３８-２００４
（夜間）　０５２-８３８-２００４
ＦＡＸ　０５２-８３２-２３１７
ｅ－mail　oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

＜環境創造工学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人名城大学

（2）大　学　名

名城大学

（3）調査対象大学等の位置

〒４６１－８５０２
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目５０１番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ タチバナ　テイジ ） 立花　貞司 （令和2年1月）		
学　　長	（ オハラ　アキヒロ ） 小原　章裕 （平成31年4月）		
学 部 長	（ サイトウ　キミアキ ） 齊藤　公明 （平成31年4月）		
学科長	（ ドウショウ　ヤスヒロ ） 道正　泰弘 （令和2年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
		年	人	年次 人	人	
理工学部 環境創造工学科 学士（工学）	工学関係	4	80	ー	320	【基礎となる学部等】 理工学部環境創造学科（令和2年度から学生募集停止）

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 80 ((ー)) [ー]	人	人 ((　)) [　]	人	人 ((　)) [　]	人	人 ((　)) [　]	人	0.98倍	ー	編入学は2年次及び3年次に実施
志願者数	723 ((0)) [0]	ー ((ー)) [ー]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]			
受験者数	707 ((0)) [0]	ー ((ー)) [ー]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]			
合格者数	274 ((0)) [0]	ー ((ー)) [ー]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]			
Ｂ　入学者数	79 ((0)) [0]	ー ((ー)) [ー]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]	(( )) [　]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.98										

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「ー」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「ー」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	79 [－] (－)	－ [－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
２年次			[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	79 [　－　] (　－　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和2年度	79 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合　計		0 人		人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜理工学部　環境創造工学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合基礎部門		英語コミュニケーションⅠ	1前		1							5
		英語コミュニケーションⅡ	1後		1							5
		英語コミュニケーションⅢ	2前		1							4
		英語コミュニケーションⅣ	2後		1							4
		プラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1							2
		プラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1							2
		ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語Ⅲ	2前		1							1
		ドイツ語Ⅳ	2後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							1
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		フランス語Ⅲ	2前		1							1
		フランス語Ⅳ	2後		1							1
		中国語Ⅰ	1前		1							2
		中国語Ⅱ	1後		1							2
		中国語Ⅲ	2前		1							2
		中国語Ⅳ	2後		1							2
		体育科学Ⅰ	1前		1							6
		体育科学Ⅱ	1後		1							6
		体育科学Ⅲ	2前		1							5
		体育科学Ⅳ	2後		1							5
		人文科学基礎Ⅰ	1前		2							3
		人文科学基礎Ⅱ	1後		2							3
		社会科学基礎Ⅰ	1前		2							2
		社会科学基礎Ⅱ	1後		2							2
		アジア文化論Ⅰ	2前		2							2
		アジア文化論Ⅱ	2後		2							2
		欧米文化論Ⅰ	2前		2							2
		欧米文化論Ⅱ	2後		2							2
		国際関係論	3前		2							1
		文学	3前		2							1
		日本国憲法	3前		2							2
		国際経済論	3後		2							1
		心理学	3後		2							3
		基礎ゼミナールⅠ	1前		1							17
		基礎ゼミナールⅡ	1後		1							16
		職業指導論	3前		2							1
		小計（38科目）	―	0	52	0	0	0	0	0	0	59
専門教育部門	理工学基礎科目	微分積分Ⅰ	1前		2							4
		微分積分Ⅱ	1後		2							4
		線形代数Ⅰ	1前		2							5
		線形代数Ⅱ	1後		2							5
		物理学Ⅰ	1前		2							7
		物理学Ⅱ	1後		2							7
		物理学演習	1後		1							2
		物理学実験Ⅰ	1前		1							4
		物理学実験Ⅱ	1後		1							4
		化学Ⅰ	1前		2							1
		化学Ⅱ	1後		2							1
		化学実験Ⅰ	1前		1							1

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合基礎部門		英語コミュニケーションⅠ	1前		1							4
		英語コミュニケーションⅡ	1後		1							4
		英語コミュニケーションⅢ	2前		1							4
		英語コミュニケーションⅣ	2後		1							4
		プラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1							2
		プラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1							2
		ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語Ⅲ	2前		1							1
		ドイツ語Ⅳ	2後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							1
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		フランス語Ⅲ	2前		1							1
		フランス語Ⅳ	2後		1							1
		中国語Ⅰ	1前		1							2
		中国語Ⅱ	1後		1							2
		中国語Ⅲ	2前		1							2
		中国語Ⅳ	2後		1							2
		体育科学Ⅰ	1前		1							5
		体育科学Ⅱ	1後		1							5
		体育科学Ⅲ	2前		1							5
		体育科学Ⅳ	2後		1							5
		人文科学基礎Ⅰ	1前		2							2
		人文科学基礎Ⅱ	1後		2							2
		社会科学基礎Ⅰ	1前		2							3
		社会科学基礎Ⅱ	1後		2							3
		アジア文化論Ⅰ	2前		2							2
		アジア文化論Ⅱ	2後		2							2
		欧米文化論Ⅰ	2前		2							2
		欧米文化論Ⅱ	2後		2							2
		国際関係論	3前		2							1
		文学	3前		2							1
		日本国憲法	3前		2							2
		国際経済論	3後		2							1
		心理学	3後		2							3
		基礎ゼミナールⅠ	1前		1		1	2				16
		基礎ゼミナールⅡ	1後		1		1	2				15
		職業指導論	3前		2							1
		小計（38科目）	―	0	52	0	1	2	0	0	0	57
専門教育部門	理工学基礎科目	微分積分Ⅰ	1前		2							2
		微分積分Ⅱ	1後		2							2
		線形代数Ⅰ	1前		2							2
		線形代数Ⅱ	1後		2							2
		物理学Ⅰ	1前		2							1
		物理学Ⅱ	1後		2							1
		物理学演習	1後		1							1
		物理学実験Ⅰ	1前		1							4
		物理学実験Ⅱ	1後		1							4
		化学Ⅰ	1前		2							1
		化学Ⅱ	1後		2							1
		化学実験Ⅰ	1前		1							2

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育部門	理工学基礎科目	化学実験Ⅱ	1後		1							1
		地学Ⅰ	1前		2							1
		地学Ⅱ	1後		2							1
		地学実験Ⅰ	1前		1							2
		地学実験Ⅱ	1後		1							2
		生物学	1後		2							1
		生物学実験	2前		1							1
		理工学概論	1前		2		3	2				10
		技術者倫理	2後		2							2
		コンピューターリテラシー	1前		2							2
		数学基礎演習Ⅰ	1前			1						6
		数学基礎演習Ⅱ	1後			1						6
		物理学基礎演習Ⅰ	1前			1						1
		物理学基礎演習Ⅱ	1後			1						1
		化学基礎演習Ⅰ	1前			1						1
		化学基礎演習Ⅱ	1後			1						1
		英語基礎演習Ⅰ	1前			1						2
		英語基礎演習Ⅱ	1後			1						2
	共通	環境創造工学概論Ⅰ	1前	2			4	5				2
		環境創造工学概論Ⅱ	1後	2			4	5				2
		コミュニケーションスキル	3後		2							1
		応用数学	2前		2							1
		確率統計学	2前		2							1
		情報処理Ⅰ	2前		2							1
		情報処理Ⅱ	2後		2							1
		環境計測学	2後		2		1	2				
		測量学	3前		2			1				
		測量学実習	3後		2			2				2
		地域環境調査実習Ⅰ	2前		1		5	5				
		地域環境調査実習Ⅱ	2後		1		5	5				
		環境創造工学実験Ⅰ	3前		2		3	1				
		環境創造工学実験Ⅱ	3後		2			4				
	エネルギー・資源循環	エネルギー環境論	1後		2			1				
		省エネルギー学	2前		2			1				
		エネルギー管理工学	2後		2			1				
		環境エネルギー変換工学	3前		2			1				
		エネルギープロセスシステム設計	3後		2			1				
		再生可能エネルギー工学	3後		2		1					
		化学工学	2前		2		1					
		有機材料工学	2後		2		1					
		無機材料合成工学	3前		2		1					
		分離精製工学	3後		2		1					
		環境材料学	2前		2		1					
		材料リサイクル	2後		2		1					
		資源循環学	3前		2		1					
		環境配慮創造設計学	3後		2		1					
		環境保全学	2前		2			1				
		環境分析学	2後		2			1				
		水環境工学	3前		2			1				
		水処理学	3後		2			1				
	環境共生	基礎生態学	2前		2		1					
		環境生態工学	2後		2		1					
		環境アセスメント	3前		2		1					
		環境共生創造論	3後		2							1
		流れ工学	2後		2		1					
		環境気象学	3前		2			1				
		環境リモートセンシング	3後		2			1				
		土壌地下水汚染学	3後		2			1				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育部門	理工学基礎科目	化学実験Ⅱ	1後		1							2
		地学Ⅰ	1前		2							1
		地学Ⅱ	1後		2							1
		地学実験Ⅰ	1前		1							2
		地学実験Ⅱ	1後		1							2
		生物学	1後		2							1
		生物学実験	2前		1							1
		理工学概論	1前		2		3	2				10
		技術者倫理	2後		2							2
		コンピューターリテラシー	1前		2							2
		数学基礎演習Ⅰ	1前			1						5
		数学基礎演習Ⅱ	1後			1						5
		物理学基礎演習Ⅰ	1前			1						1
		物理学基礎演習Ⅱ	1後			1						1
		化学基礎演習Ⅰ	1前			1						1
		化学基礎演習Ⅱ	1後			1						1
		英語基礎演習Ⅰ	1前			1						2
		英語基礎演習Ⅱ	1後			1						2
	共通	環境創造工学概論Ⅰ	1前	2			5	5				1
		環境創造工学概論Ⅱ	1後	2			5	5				0
		コミュニケーションスキル	3後		2							1
		応用数学	2前		2							1
		確率統計学	2前		2							1
		情報処理Ⅰ	2前		2							1
		情報処理Ⅱ	2後		2							1
		環境計測学	2後		2		1	2				
		測量学	3前		2			1				
		測量学実習	3後		2			2				2
		地域環境調査実習Ⅰ	2前		1		5	5				
		地域環境調査実習Ⅱ	2後		1		5	5				
		環境創造工学実験Ⅰ	3前		2		3	1				
		環境創造工学実験Ⅱ	3後		2			4				
	エネルギー・資源循環	エネルギー環境論	1後		2			1				
		省エネルギー学	2前		2			1				
		エネルギー管理工学	2後		2			1				
		環境エネルギー変換工学	3前		2			1				
		エネルギープロセスシステム設計	3後		2			1				
		再生可能エネルギー工学	3後		2		1					
		化学工学	2前		2		1					
		有機材料工学	2後		2		1					
		無機材料合成工学	3前		2		1					
		分離精製工学	3後		2		1					
		環境材料学	2前		2		1					
		材料リサイクル	2後		2		1					
		資源循環学	3前		2		1					
		環境配慮創造設計学	3後		2		1					
		環境保全学	2前		2			1				
		環境分析学	2後		2			1				
		水環境工学	3前		2			1				
		水処理学	3後		2			1				
	環境共生	基礎生態学	2前		2		1					
		環境生態工学	2後		2		1					
		環境アセスメント	3前		2		1					
		環境共生創造論	3後		2							1
		流れ工学	2後		2		1					
		環境気象学	3前		2			1				
		環境リモートセンシング	3後		2			1				
		土壌地下水汚染学	3後		2			1				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育部門	人間活動環境	デザイン図法	1後		2		2					3
		住環境創造設計学	2前		2		2					
		居住環境創造設計学Ⅰ	2後		2		2					3
		居住環境創造設計学Ⅱ	3前		2		2					2
		空間創造学	2前		2							1
		環境文化論	2後		2		1					
		アーバンデザイン	3前		3		1					
		環境マネジメント	3後		2		1					
		快適性創造学Ⅰ	2前		2		1					
		快適性創造学Ⅱ	2後		2		1					
		環境創造設備学Ⅰ	3前		2		1					
		環境創造設備学Ⅱ	3後		2		1					
		材料力学	2前		2			1				
		構造力学Ⅰ	2後		2			1				
		構造力学Ⅱ	3前		2			1				
		環境構造設計法	3後		3		1					
		建設施工学	3後		2							1
		建設法規	3後		2							1
	共通	環境倫理	1後		2		1					
		環境法	3前		2							1
		インターンシップ	3前		1		1					
		ゼミナール	3後	2			5	5				
		卒業研究・卒業制作	4通	4			5	5				
		小計(93科目)	－	10	153	8	6	5	0	0	0	68
合計(131科目)			―	10	205	8	6	5	0	0	0	126

卒業要件及び履修方法

必修科目10単位，総合基礎部門の選択科目から20単位以上，専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育部門	人間活動環境	デザイン図法	1後		2		2					3
		住環境創造設計学	2前		2		2					
		居住環境創造設計学Ⅰ	2後		2		2					3
		居住環境創造設計学Ⅱ	3前		2		2					2
		空間創造学	2前		2							1
		環境文化論	2後		2		1					
		アーバンデザイン	3前		3		1					
		環境マネジメント	3後		2		1					
		快適性創造学Ⅰ	2前		2		1					
		快適性創造学Ⅱ	2後		2		1					
		環境創造設備学Ⅰ	3前		2		1					
		環境創造設備学Ⅱ	3後		2		1					
		材料力学	2前		2			1				
		構造力学Ⅰ	2後		2			1				
		構造力学Ⅱ	3前		2			1				
		環境構造設計法	3後		3		1					
		建設施工学	3後		2							1
		建設法規	3後		2							1
	共通	環境倫理	1後		2		**0**					**1**
		環境法	3前		2							1
		インターンシップ	3前		1		1					
		ゼミナール	3後	2			5	5				
		卒業研究・卒業制作	4通	4			5	5				
		小計(93科目)	－	10	153	8	6	5	0	0	0	**55**
合計(131科目)			―	10	205	8	6	5	0	0	0	**112**

卒業要件及び履修方法

必修科目10単位，総合基礎部門の選択科目から20単位以上，専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

■開講クラス数の変更により、以下のとおり教員配置を変更。
・「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ」の兼任・兼担教員を「5」から「4」に変更。
・「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」の兼任・兼担教員を「6」から「5」に変更。
・「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」の兼任・兼担教員を「3」から「2」に変更。
・「社会科学基礎Ⅰ」「社会科学基礎Ⅱ」の兼任・兼担教員を「2」から「3」に変更。
・「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」の兼任・兼担教員を「4」から「2」に変更。
・「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」の兼任・兼担教員を「5」から「2」に変更。
・「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」の兼任・兼担教員を「7」から「1」に変更。
・「物理学演習」の兼任・兼担教員を「2」から「1」に変更。

■教育効果向上のため、以下のとおり教員配置を変更。
・「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「0」から「2」に変更。
・「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「0」から「2」に変更。

■時間割編成の都合により、以下のとおり教員配置を変更。
・「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」の兼任・兼担教員を「17」から「16」に変更。
・「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」の兼任・兼担教員を「16」から「15」に変更。
・「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
・「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」の兼任・兼担教員を「6」から「5」に変更。
・「環境創造工学概論Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に、兼任・兼担教員を「2」から「1」に変更。
・「環境創造工学概論Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に、兼任・兼担教員を「2」から「0」に変更。
・「環境倫理」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、兼任・兼担教員を「0」から「1」に変更。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
4 科目	119 科目	8 科目	131 科目	4 科目 [0]	119 科目 [0]	8 科目 [0]	131 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

―

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{131} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	寄宿舎（ラグビー部合宿所）用地取得による増加。（2）
	校舎敷地	187,513.63㎡	0.00㎡	0.00㎡	187,513.63㎡	
	運動場用地	167,348.29㎡	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡	
	小　　計	354,861.92㎡	0.00㎡	0.00㎡	354,861.92㎡	
	その他	130,165.60㎡ ~~129,642.60㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	130,165.60㎡ ~~129,642.60㎡~~	
	合　　計	485,027.52㎡ ~~484,504.52㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	485,027.52㎡ ~~484,504.52㎡~~	
(2) 校舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	建物建て替え（建設及び取壊し）による減少。（2）
		242,340.06㎡ ~~244,223.45㎡~~ (232,771.09㎡) ~~(234,668.04㎡)~~	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	242,340.06㎡ ~~244,223.45㎡~~ (232,771.09㎡) ~~(234,668.04㎡)~~	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 建物建設による室数の増加（2） 採用状況並びに業務委託先の変更による補助教員数の変更（2）
	148室 ~~141室~~	162室 ~~148室~~	262室 ~~271室~~	24室 13 （補助職員~~11~~人）	5室 4 （補助職員~~6~~人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	理工学部　環境創造工学科	10	室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	視聴覚資料は学部単位での特定不能なため、大学全体の数。 大学全体での共用分 図書 1,196,810〔379,956〕 ~~1,194,531〔379,070〕~~ 学術雑誌 21,926〔21,610〕 ~~17,668〔16,878〕~~ 電子ジャーナル 21,139〔21,123〕 ~~16,382〔16,375〕~~ 機械・器具 720 ~~711~~ 整備計画変更等による図書、学術雑誌、電子ｼﾞｬｰﾅﾙ、機械・器具及び標本の変更（2）
	理工学部 環境創造工学科	106,575〔17,165〕 ~~106,185〔17,162〕~~ (106,575〔17,165〕) ~~(106,185〔17,162〕)~~	8,923〔8,826〕 ~~13,166〔13,068〕~~ (8,923〔8,826〕) ~~(13,166〔13,068〕)~~	8,761〔8,755〕 ~~12,998〔12,992〕~~ (8,761〔8,755〕) ~~(12,998〔12,992〕)~~	28,672 ~~28,739~~ (28,672) ~~(28,739)~~	4,592 ~~4,677~~ (3,839) ~~(3,942)~~	25 ~~47~~ (22) ~~(44)~~	
	計	106,575〔17,165〕 ~~106,185〔17,162〕~~ (106,575〔17,165〕) ~~(106,185〔17,162〕)~~	8,923〔8,826〕 ~~13,166〔13,068〕~~ (8,923〔8,826〕) ~~(13,166〔13,068〕)~~	8,761〔8,755〕 ~~12,998〔12,992〕~~ (8,761〔8,755〕) ~~(12,998〔12,992〕)~~	28,672 ~~28,739~~ (28,672) ~~(28,739)~~	4,592 ~~4,677~~ (3,839) ~~(3,942)~~	25 ~~47~~ (22) ~~(44)~~	

(6) 図書館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	15,504.27㎡	1,712	1,575,305	

(7) 体育館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
		プール	テニスコート	
	8,345.18㎡			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体 実績値算出に伴う図書購入費及び設備購入費の変更。（2） 予算変更に伴う共同研究費等の変更（2）
		教員１人当り研究費等	478千円	478千円	図書購入費	2,278千円 ~~13,840千円~~	13,840千円	13,840千円	
		共同研究費等	29,548千円 ~~30,565千円~~	29,548千円 ~~30,565千円~~	設備購入費	85,752千円 ~~65,510千円~~	65,510千円	65,510千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料・雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	名城大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法学部	－	400	－	1,600	－	1.03	1.01	－	－		
法学科	4	400	－	1,600	学士（法学）	1.03	1.01	－	平成11	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
応用実務法学科	4	－	－	－	学士（法学）	－	－	－	平成11		平成28年度学生募集停止
経営学部	－	310	－	1,240	－	1.01	1.03	－	－		
経営学科	4	215	－	860	学士（経営学）	0.99	1.04	平成29	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	定員変更（20）
国際経営学科	4	95	－	380	学士（経営学）	1.06	1.00	平成29	平成12		定員変更（5）
経済学部	－	310	－	1,240	－	1.03	0.98	－	－		
経済学科	4	210	－	840	学士（経済学）	0.99	0.96	平成29	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	定員変更（25）
産業社会学科	4	100	－	400	学士（経済学）	1.13	1.01	－	平成12		
理工学部	－	1,185	－	4,740	－	0.99	1.03	－	－		
数学科	4	90	－	360	学士（理学）	0.97	0.97	平成29	平成12		定員変更（5）
情報工学科	4	150	－	600	学士（工学）	1.03	1.13	平成29	平成16		定員変更（5）
電気電子工学科	4	150	－	600	学士（工学）	1.03	1.19	平成29	平成12		定員変更（20）
材料機能工学科	4	80	－	320	学士（工学）	1.05	0.97	平成29	平成12		定員変更（15）
応用化学科	4	70	－	280	学士（工学）	0.90	0.94	平成29	平成25		定員変更（10）
機械工学科	4	125	－	500	学士（工学）	0.95	1.01	平成29	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	定員変更（5）
交通機械工学科	4	125	－	500	学士（工学）	0.97	1.04	平成29	平成12		定員変更（15）
メカトロニクス工学科	4	80	－	320	学士（工学）	1.01	1.06	平成29	平成25		定員変更（5）
社会基盤デザイン工学科	4	90	－	360	学士（工学）	0.96	0.93	－	平成12		
環境創造学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	平成29	平成12		定員変更（▲10） 令和2年学生募集停止
環境創造工学科	4	80	－	80	学士（工学）	0.98	0.98	令和2	令和2		
建築学科	4	145	－	580	学士（工学）	0.99	0.97	平成29	平成12		定員変更（10）
農学部	－	330	－	1,320	－	1.01	1.00	－	－		
生物資源学科	4	110	－	440	学士（農学）	1.04	1.04	平成29	平成11	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	定員変更（10）
応用生物化学科	4	110	－	440	学士（農学）	0.99	1.08	平成29	平成11		定員変更（10）
生物環境科学科	4	110	－	440	学士（農学）	1.00	0.90	平成29	平成17		定員変更（10）

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
薬学部	－	265	－	1,560		1.06	1.09			愛知県名古屋市天白区八事山150番地	
薬学科（6年制）	6	265	－	1,560	学士（薬学）	1.06	1.09	平成29	平成18		定員変更（15）
都市情報学部	－	220	－	880		0.97	1.01			愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
都市情報学科	4	220	－	880	学士（都市情報学）	0.97	1.01	平成29	平成7		定員変更（20）
人間学部	－	220	－	880		1.05	1.09			愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
人間学科	4	220	－	880	学士（人間学）	1.05	1.09	平成29	平成15		定員変更（20）
外国語学部	－	130	－	520		1.03	1.03			愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
国際英語学科	4	130	－	520	学士（外国語学）	1.03	1.03	平成29	平成28		
大学全体	－	3,370	－	13,980	－	－	1.03	－	－	―	

大学の名称	名城大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
法学研究科											
法律学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	15	－	30	修士（法学）	0.20	0.20	－	昭和42		
博士後期課程	3	8	－	24	博士（法学）	0.12	0.00	－	昭和44		
経営学研究科											
経営学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	20	－	40	修士（経営学）	0.25	0.10	－	平成13		
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経営学）	0.22	0.00	－	平成15		
経済学研究科											
経済学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	10	－	20	修士（経済学）	0.15	0.10	－	平成12		
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経済学）	0.33	0.33	－	平成14		
理工学研究科											
数学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（理学）	0.18	0.25	－	平成14		
博士後期課程	3	2	－	6	博士（理学）	0.33	0.00	－	平成7		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
理工学研究科											
情報工学専攻											
修士課程	2	30	－	60	修士（工学）	0.66	0.63	－	平成14		
電気電子工学専攻											
博士前期課程	2	25	－	50	修士（工学）	1.10	1.04	－	平成14		令和元年定員変更（5）
材料機能工学専攻											
修士課程	2	35	－	70	修士（工学）	0.84	1.11	－	平成14		令和元年定員変更（5）
応用化学専攻											
修士課程	2	24	－	48	修士（工学）	0.49	0.41	－	平成29		
機械工学専攻											
修士課程	2	30	－	60	修士（工学）	1.06	0.86	－	平成14		令和元年定員変更（6）
博士後期課程	3	5	－	15	博士（工学）	0.20	0.20	－	平成4		
交通機械工学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	25	－	50	修士（工学）	0.76	0.72	－	平成14		令和元年定員変更（9）
メカトロニクス工学専攻											
修士課程	2	24	－	48	修士（工学）	0.76	0.91	－	平成29		令和元年定員変更（4）
社会基盤デザイン工学専攻											
修士課程	2	18	－	36	修士（工学）	0.32	0.27	－	平成14		
環境創造学専攻											
修士課程	2	8	－	16	修士（工学）	0.62	0.50	－	平成14		
建築学専攻											
修士課程	2	16	－	32	修士（工学）	0.71	0.81	－	平成14		
電気・情報・材料・物質工学専攻											
博士後期課程	3	10	－	30	博士（工学）	0.13	0.10	－	平成5		
社会環境デザイン工学専攻											
博士課程	3	5	－	15	博士（工学）	0.60	0.40	－	平成4		
農学研究科											
農学専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	20	－	40	修士（農学）	1.55	1.50	－	昭和48		
博士後期課程	3	5	－	15	博士（農学）	0.13	0.00	－	昭和51		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
薬学研究科											
薬学専攻										愛知県名古屋市天白区八事山150番地	
博士課程（4年制）	4	4	－	16	博士（薬学）	1.37	1.25	－	平成24		
都市情報学研究科											
都市情報学専攻										愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
修士課程	2	8	－	16	修士（都市情報学）	0.50	0.50	－	平成11		
博士後期課程	3	4	－	12	博士（都市情報学）	0.25	0.25	－	平成13		
人間学研究科											
人間学専攻										愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
修士課程	2	8	－	16	修士（人間学）	0.06	0.12	－	平成23		
総合学術研究科											
総合学術専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（学術）	0.06	0.00	－	平成14		
博士後期課程	3	4	－	12	博士（学術）	0.25	0.25	－	平成14		
法務研究科											
法務専攻										愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
専門職学位課程	3	－	－	－	法務博士（専門職）	－	－	－	平成16		平成29年学生募集停止
大学院全体	－	385	－	827	－	－	0.61	－	－		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜理工学部　環境創造工学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	垣鍔　直 ＜令和２年４月＞ 工学博士	デザイン図法 環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※
専	教授	藏澄　美仁 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	住環境創造設計学 快適性創造学Ⅰ 快適性創造学Ⅱ 環境創造設備学Ⅰ 環境創造設備学Ⅱ 環境マネジメント 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ ゼミナール 卒業研究・卒業制作 居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ
専	教授	道正　泰弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 環境材料学 材料リサイクル 資源循環学 環境配慮創造設計学 環境構造設計法 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	教授	西山　桂 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 化学工学 有機材料工学 無機材料合成工学 分離精製工学 インターンシップ ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 再生可能エネルギー工学
専	教授	三宅　克英 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 基礎生態学 環境生態工学 環境アセスメント ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 環境計測学 流れ工学 環境倫理
専	教授	吉村　晶子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	理工学概論※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ デザイン図法 住環境創造設計学 居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ 環境文化論 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 アーバンデザイン

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	垣鍔　直 ＜令和２年４月＞ 工学博士	デザイン図法 環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※
専	教授	藏澄　美仁 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	住環境創造設計学 快適性創造学Ⅰ 快適性創造学Ⅱ 環境創造設備学Ⅰ 環境創造設備学Ⅱ 環境マネジメント 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ ゼミナール 卒業研究・卒業制作 居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ
専	教授	道正　泰弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 環境材料学 材料リサイクル 資源循環学 環境配慮創造設計学 環境構造設計法 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	教授	西山　桂 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 化学工学 有機材料工学 無機材料合成工学 分離精製工学 インターンシップ ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 再生可能エネルギー工学
専	教授	三宅　克英 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 基礎生態学 環境生態工学 環境アセスメント ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 環境計測学 流れ工学 **環境倫理** **基礎ゼミナールⅠ** **基礎ゼミナールⅡ**
専	教授	吉村　晶子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	理工学概論※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ デザイン図法 住環境創造設計学 居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ 環境文化論 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 アーバンデザイン **環境創造工学概論Ⅰ※** **環境創造工学概論Ⅱ※**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小塩　達也 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 材料力学 環境計測学 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	准教授	片桐　誠之 ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅱ 環境保全学 環境分析学 水環境工学 水処理学 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論
専	准教授	日比　義彦 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 土壌地下水汚染学 環境創造工学実験Ⅱ 測量学 測量学実習 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	准教授	広瀬　正史 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境気象学 環境創造工学実験Ⅱ 環境リモートセンシング 測量学実習 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	准教授	武藤　昌也 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅱ エネルギー環境論 省エネルギー学 環境エネルギー変換工学 エネルギープロセスシステム設計 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 環境計測学 エネルギー管理工学
兼担	教授	中村　栄造 ＜令和２年４月＞ 文学修士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	宮北　惠子 ＜令和３年４月＞ 文学修士	欧米文化論Ⅰ 欧米文化論Ⅱ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小塩　達也 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅰ 材料力学 環境計測学 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ ゼミナール 卒業研究・卒業制作 **基礎ゼミナールⅠ** **基礎ゼミナールⅡ**
専	准教授	片桐　誠之 ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅱ 環境保全学 環境分析学 水環境工学 水処理学 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 **基礎ゼミナールⅠ** **基礎ゼミナールⅡ**
専	准教授	日比　義彦 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 土壌地下水汚染学 環境創造工学実験Ⅱ 測量学 測量学実習 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	准教授	広瀬　正史 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境気象学 環境創造工学実験Ⅱ 環境リモートセンシング 測量学実習 ゼミナール 卒業研究・卒業制作
専	准教授	武藤　昌也 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境創造工学概論Ⅱ※ 地域環境調査実習Ⅰ 地域環境調査実習Ⅱ 環境創造工学実験Ⅱ エネルギー環境論 省エネルギー学 環境エネルギー変換工学 エネルギープロセスシステム設計 ゼミナール 卒業研究・卒業制作 理工学概論 環境計測学 エネルギー管理工学
兼担	教授	中村　栄造 ＜令和２年４月＞ 文学修士	~~**英語コミュニケーションⅠ**~~ ~~**英語コミュニケーションⅡ**~~ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	宮北　惠子 ＜令和３年４月＞ 文学修士	欧米文化論Ⅰ 欧米文化論Ⅱ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松村　昌紀 ＜令和２年４月＞ 教育学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	長澤　崇雄 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	相馬　仁 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	前川　明寛 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	西村　尚哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	鈴木　昌弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	楊　剣鳴 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	木岡　一明 ＜令和２年４月＞ 教育学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	中島　公平 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	江尻　典雄 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ
兼担	教授	土田　哲生 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		微分積分Ⅰ 応用数学
兼担	教授	橋本　英哉 ＜令和２年４月＞ 学術博士
		微分積分Ⅱ
兼担	教授	大西　良博 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		線形代数Ⅰ
兼担	教授	土屋　文 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 理工学概論※
兼担	教授	坂東　俊治 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松村　昌紀 ＜令和２年４月＞ 教育学修士
		~~基礎ゼミナールⅠ~~ ~~基礎ゼミナールⅡ~~
兼担	教授	長澤　崇雄 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	相馬　仁 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	前川　明寛 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	西村　尚哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	鈴木　昌弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	楊　剣鳴 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	木岡　一明 ＜令和２年４月＞ 教育学修士
		~~基礎ゼミナールⅠ~~ ~~基礎ゼミナールⅡ~~
兼担	教授	中島　公平 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	教授	江尻　典雄 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		~~微分積分Ⅰ~~ ~~微分積分Ⅱ~~ ~~数学基礎演習Ⅰ~~
兼担	教授	土田　哲生 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		微分積分Ⅰ 応用数学 微分積分Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ
兼担	教授	橋本　英哉 ＜令和２年４月＞ 学術博士
		~~微分積分Ⅱ~~
兼担	教授	大西　良博 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~線形代数Ⅰ~~
兼担	教授	土屋　文 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		~~物理学Ⅰ~~ ~~物理学Ⅱ~~ 理工学概論※
兼担	教授	坂東　俊治 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~物理学Ⅰ~~ ~~物理学Ⅱ~~

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	中山　章宏 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼担	教授	田中　義人 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ
兼担	教授	齊藤　毅 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		地学Ⅰ 地学Ⅱ 地学実験Ⅰ 地学実験Ⅱ
兼担	教授	小髙　猛司 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	教授	平松　美根男 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	永田　央 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		理工学概論※
兼担	教授	古川　裕之 ＜令和２年４月＞ 博士（学術）
		理工学概論※
兼担	教授	加鳥　裕明 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	教授	井上　真澄 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	岡田　恭明 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	小澤　哲也 ＜令和２年４月＞ Doctorat de 3ème Cycle （仏国）
		数学基礎演習Ⅱ
兼担	准教授	三浦　彩子 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）
		空間創造学
兼担	准教授	内田　雄介 ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	中山　章宏 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼担	教授	田中　義人 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		化学実験Ⅰ~~~~ **化学実験Ⅱ~~**~~ **化学Ⅰ **化学Ⅱ**
兼担	教授	齊藤　毅 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		地学Ⅰ **地学Ⅱ~~**~~ 地学実験Ⅰ 地学実験Ⅱ
兼担	教授	小髙　猛司 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	教授	平松　美根男 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	永田　央 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		理工学概論※
兼担	教授	古川　裕之 ＜令和２年４月＞ 博士（学術）
		理工学概論※
兼担	教授	加鳥　裕明 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	教授	井上　真澄 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	岡田　恭明 ＜令和２年４月＞ 工学博士
		理工学概論※
兼担	教授	小澤　哲也 ＜令和２年４月＞ Doctorat de 3ème Cycle （仏国）
		数学基礎演習Ⅱ
兼担	**教授**	**板橋　一雄 ＜令和２年４月＞ 工学博士**
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	**教授**	**吉久　光一 ＜令和２年４月＞ 工学博士**
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	**教授**	**日比野　隆 ＜令和２年４月＞ 博士（農学）**
		化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ
兼担	准教授	三浦　彩子 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）
		空間創造学
兼担	准教授	内田　雄介 ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	名和 洋人 ＜令和４年４月＞ 博士（経済学）
		国際経済論
兼担	准教授	榎本　暁 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	准教授	景山　伯春 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		基礎ゼミナールⅠ 化学基礎演習Ⅰ 化学基礎演習Ⅱ
兼担	准教授	大藏　信之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	准教授	村瀬　勇介 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	准教授	日比野　正樹 ＜令和２年４月＞ 博士（数理学）
		線形代数Ⅱ
兼担	准教授	小澤　理樹 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼担	准教授	旭　健作 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	准教授	赤堀　俊和 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	准教授	鍛治　俊輔 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		数学基礎演習Ⅰ
兼担	准教授	許斐　豊 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		数学基礎演習Ⅱ
兼担	講師	早藤 英俊 ＜令和２年４月＞ 工学士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	助教	大知　聖子 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	助教	内村　佳典 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 確率統計学
兼担	助教	大久保 敏之 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	名和 洋人 ＜令和４年４月＞ 博士（経済学）
		国際経済論
兼担	准教授	榎本　暁 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	准教授	景山　伯春 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		基礎ゼミナールⅠ 化学基礎演習Ⅰ 化学基礎演習Ⅱ
兼担	准教授	大藏　信之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	准教授	村瀬　勇介 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~基礎ゼミナールⅠ~~ ~~基礎ゼミナールⅡ~~
兼担	准教授	日比野　正樹 ＜令和２年４月＞ 博士（数理学）
		~~線形代数Ⅱ~~
兼担	准教授	小澤　理樹 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		~~物理学Ⅰ~~ ~~物理学Ⅱ~~
兼担	准教授	旭　健作 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	准教授	赤堀　俊和 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		理工学概論※
兼担	准教授	鍛治　俊輔 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~数学基礎演習Ⅰ~~
兼担	准教授	許斐　豊 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~数学基礎演習Ⅱ~~
兼担	講師	早藤 英俊 ＜令和２年４月＞ 工学士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	助教	大知　聖子 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼担	助教	内村　佳典 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~線形代数Ⅰ~~ ~~線形代数Ⅱ~~ 確率統計学
兼担	助教	大久保 敏之 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~物理学Ⅰ~~ ~~物理学Ⅱ~~

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	今井　大地 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		物理学演習
兼担	助教	水沼　洋人 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）
		技術者倫理
兼任	講師	髙木　香与子 ＜令和４年４月＞ 学術修士
		コミュニケーションスキル
兼任	講師	大嶽　麻里子 ＜令和３年４月＞ 学士（人文）
		情報処理Ⅱ
兼任	講師	高部　修 ＜令和３年４月＞ 工学士
		居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ
兼任	講師	久保田　英之 ＜令和３年４月＞ 工学士
		居住環境創造設計学Ⅰ
兼任	講師	大野　浩資 ＜令和３年４月＞ 修士（工学）
		居住環境創造設計学Ⅰ デザイン図法
兼任	講師	脇坂　圭一 ＜令和４年４月＞ 博士（工学）
		居住環境創造設計学Ⅱ
兼任	講師	相原　仁史 ＜令和４年４月＞ 工学士
		建設施工学
兼任	講師	尾﨑　智央 ＜令和４年４月＞ 学士（工学）
		建設法規
兼任	講師	竹内　千賀子 ＜令和４年４月＞ 学士（法学）
		環境法
兼任	講師	蟹江　弘子 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	岩塚　さおり ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	田中　晴紀 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	今井　大地 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		物理学演習
兼担	助教	水沼　洋人 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）
		技術者倫理
兼担	**助教**	**本田　真己 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）**
		化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ
兼担	**助教**	**森口　舞 ＜令和２年４月＞ 博士（政治学）**
		社会科学基礎Ⅰ 社会科学基礎Ⅱ
兼任	講師	髙木　香与子 ＜令和４年４月＞ 学術修士
		コミュニケーションスキル
兼任	講師	大嶽　麻里子 ＜令和３年４月＞ 学士（人文）
		情報処理Ⅱ
兼任	講師	高部　修 ＜令和３年４月＞ 工学士
		居住環境創造設計学Ⅰ 居住環境創造設計学Ⅱ
兼任	講師	久保田　英之 ＜令和３年４月＞ 工学士
		居住環境創造設計学Ⅰ
兼任	講師	大野　浩資 ＜令和３年４月＞ 修士（工学）
		居住環境創造設計学Ⅰ デザイン図法
兼任	講師	脇坂　圭一 ＜令和４年４月＞ 博士（工学）
		居住環境創造設計学Ⅱ
兼任	講師	相原　仁史 ＜令和４年４月＞ 工学士
		建設施工学
兼任	講師	尾﨑　智央 ＜令和４年４月＞ 学士（工学）
		建設法規
兼任	講師	竹内　千賀子 ＜令和４年４月＞ 学士（法学）
		環境法
兼任	講師	蟹江　弘子 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	岩塚　さおり ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	田中　晴紀 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永井　正司 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	赤塚　麻理 ＜令和３年４月＞ 博士（学術）
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	武藤　美代子 ＜令和３年４月＞ 文学博士
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	Wood Christopher ＜令和４年４月＞ 文学士
		プラクティカル・イングリッシュⅠ プラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	Stephen John Hodges ＜令和４年４月＞ TEFL修士
		プラクティカル・イングリッシュⅠ プラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	星　揚一郎 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	村元　麻衣 ＜令和３年４月＞ 修士（人間文化）
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	河脇　都美 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	山口　憲男 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	王　喜云 ＜令和２年４月＞ 修士（学術）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	秋元　悦子 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	熊谷　暁子 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	永田　恵理 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	金子　恭久 ＜令和２年４月＞ 教育学士
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永井　正司 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	赤塚　麻理 ＜令和３年４月＞ 博士（学術）
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	武藤　美代子 ＜令和３年４月＞ 文学博士
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	Wood Christopher ＜令和４年４月＞ 文学士
		プラクティカル・イングリッシュⅠ プラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	Stephen John Hodges ＜令和４年４月＞ TEFL修士
		プラクティカル・イングリッシュⅠ プラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	星　揚一郎 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ~~人文科学基礎Ⅰ~~ ~~人文科学基礎Ⅱ~~
兼任	講師	村元　麻衣 ＜令和３年４月＞ 修士（人間文化）
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	河脇　都美 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	山口　憲男 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	王　喜云 ＜令和２年４月＞ 修士（学術）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	秋元　悦子 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	熊谷　暁子 ＜令和３年４月＞ 文学修士
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	永田　恵理 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	金子　恭久 ＜令和２年４月＞ 教育学士
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	門間　博 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	青山　健太 ＜令和２年４月＞ 修士（体育科学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	塩見　哲大 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	内山　明 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	松本　秀彦 ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	辻内　智樹 ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	黒田　真二 ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	徳山　性友 ＜令和３年４月＞ Ph.D(Sport Administration)
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	佐藤　啓介 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	河津　邦喜 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	早坂　泰行 ＜令和２年４月＞ 修士（歴史学）
		社会科学基礎Ⅰ 社会科学基礎Ⅱ
兼任	講師	齋藤　滋 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		社会科学基礎Ⅰ 社会科学基礎Ⅱ
兼任	講師	本村　耐樹 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		アジア文化論Ⅰ アジア文化論Ⅱ
兼任	講師	竹野　富之 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		アジア文化論Ⅰ アジア文化論Ⅱ
兼任	講師	大橋　真砂子 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		欧米文化論Ⅰ 欧米文化論Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	門間　博 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	青山　健太 ＜令和２年４月＞ 修士（体育科学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	塩見　哲大 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅰ 体育科学Ⅱ
兼任	講師	内山　明 ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）
		~~体育科学Ⅰ~~ ~~体育科学Ⅱ~~
兼任	講師	松本　秀彦 ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	辻内　智樹 ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	黒田　真二 ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	徳山　性友 ＜令和３年４月＞ Ph.D(Sport Administration)
		体育科学Ⅲ 体育科学Ⅳ
兼任	講師	佐藤　啓介 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	河津　邦喜 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	早坂　泰行 ＜令和２年４月＞ 修士（歴史学）
		社会科学基礎Ⅰ 社会科学基礎Ⅱ
兼任	講師	齋藤　滋 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）
		社会科学基礎Ⅰ 社会科学基礎Ⅱ
兼任	講師	本村　耐樹 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		アジア文化論Ⅰ アジア文化論Ⅱ
兼任	講師	竹野　富之 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		アジア文化論Ⅰ アジア文化論Ⅱ
兼任	講師	大橋　真砂子 ＜令和３年４月＞ 博士（文学）
		欧米文化論Ⅰ 欧米文化論Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	賀茂　道子 ＜令和４年４月＞ 博士（法学）
		国際関係論
兼任	講師	緑川　幸成 ＜令和４年４月＞ 文学修士
		文学
兼任	講師	日比　拓也 ＜令和４年４月＞ 修士（法）
		日本国憲法
兼任	講師	川中　達治 ＜令和４年４月＞ 法学修士
		日本国憲法
兼任	講師	濱家　徳子 ＜令和４年４月＞ 修士（心理学）
		心理学
兼任	講師	鷲津　秀樹 ＜令和４年４月＞ 経営学士
		心理学
兼任	講師	重村　正之 ＜令和４年４月＞ 文学修士
		心理学
兼任	講師	安部　則男 ＜令和４年４月＞ 工学修士
		職業指導論
兼任	講師	堀田　耕作 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
兼任	講師	岡　智美 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松添　博 ＜令和２年４月＞ 博士（情報科学）
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡　紀智 ＜令和２年４月＞ 博士（数理学）
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河　一生 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本　拓也 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	佐藤　俊郎 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	片岡　啓介 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	賀茂　道子 ＜令和４年４月＞ 博士（法学）
		国際関係論
兼任	講師	緑川　幸成 ＜令和４年４月＞ 文学修士
		文学
兼任	講師	日比　拓也 ＜令和４年４月＞ 修士（法）
		日本国憲法
兼任	講師	川中　達治 ＜令和４年４月＞ 法学修士
		日本国憲法
兼任	講師	濱家　徳子 ＜令和４年４月＞ 修士（心理学）
		心理学
兼任	講師	鷲津　秀樹 ＜令和４年４月＞ 経営学士
		心理学
兼任	講師	重村　正之 ＜令和４年４月＞ 文学修士
		心理学
兼任	講師	安部　則男 ＜令和４年４月＞ 工学修士
		職業指導論
兼任	講師	堀田　耕作 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
兼任	講師	岡　智美 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~**微分積分Ⅰ**~~ ~~**微分積分Ⅱ**~~ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松添　博 ＜令和２年４月＞ 博士（情報科学）
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡　紀智 ＜令和２年４月＞ 博士（数理学）
		~~**線形代数Ⅰ**~~ ~~**線形代数Ⅱ**~~ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河　一生 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~**線形代数Ⅰ**~~ ~~**線形代数Ⅱ**~~ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本　拓也 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		~~**物理学Ⅰ**~~ ~~**物理学Ⅱ**~~
兼任	講師	佐藤　俊郎 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		~~**物理学Ⅰ**~~ ~~**物理学Ⅱ**~~
兼任	講師	片岡　啓介 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		~~**物理学Ⅰ**~~ ~~**物理学Ⅱ**~~ ~~**物理学演習**~~

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鏡　裕行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	富田　寿代 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野　拓哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	村手　宏隆 ＜令和２年４月＞ 工学博士	化学Ⅰ 化学Ⅱ
兼任	講師	居川　信之 ＜令和２年４月＞ 理学修士	地学実験Ⅰ
兼任	講師	市原　俊 ＜令和２年４月＞ 修士（学術）	地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野　ひろ実 ＜令和２年４月＞ 修士（生活環境）	生物学 生物学実験
兼任	講師	大野　波矢登 ＜令和3年４月＞ 修士（文学）	技術者倫理
兼任	講師	丹羽　淳一 ＜令和２年４月＞ 法学士	コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ
兼任	講師	安田　倫代 ＜令和２年４月＞ 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋　美佐 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木　智子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚　辰夫 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上　一夫 ＜令和２年４月＞ 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	杉山　範子 ＜令和２年４月＞ 博士（環境学）	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	冨樫　聡 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	環境創造工学概論Ⅱ※

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鏡　裕行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	~~物理学実験Ⅰ~~ ~~物理学実験Ⅱ~~
兼任	講師	富田　寿代 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野　拓哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	~~物理学実験Ⅰ~~ ~~物理学実験Ⅱ~~
兼任	講師	村手　宏隆 ＜令和２年４月＞ 工学博士	~~化学Ⅰ~~ ~~化学Ⅱ~~
兼任	講師	居川　信之 ＜令和２年４月＞ 理学修士	地学実験Ⅰ 地学Ⅱ
兼任	講師	市原　俊 ＜令和２年４月＞ 修士（学術）	地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野　ひろ実 ＜令和２年４月＞ 修士（生活環境）	生物学 生物学実験
兼任	講師	大野　波矢登 ＜令和3年４月＞ 修士（文学）	技術者倫理 環境倫理
兼任	講師	丹羽　淳一 ＜令和２年４月＞ 法学士	コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ
兼任	講師	安田　倫代 ＜令和２年４月＞ 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋　美佐 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木　智子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚　辰夫 ＜令和２年４月＞ 修士（文学）	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上　一夫 ＜令和２年４月＞ 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	杉山　範子 ＜令和２年４月＞ 博士（環境学）	~~環境創造工学概論Ⅰ※~~
兼任	講師	冨樫　聡 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	~~環境創造工学概論Ⅱ※~~

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石松　丈佳 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林　雅博 ＜令和２年４月＞ 工学士
		測量学実習
兼任	講師	廣橋　淳 ＜令和２年４月＞ 工学士
		測量学実習
兼任	講師	藤澤　徹 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		環境共生創造論
兼任	講師	岩田　剛彦 ＜令和２年４月＞ 修士（建築）
		デザイン図法
兼任	講師	杉浦　清 ＜令和２年４月＞ 工学士
		デザイン図法

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石松　丈佳 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林　雅博 ＜令和２年４月＞ 工学士
		測量学実習
兼任	講師	廣橋　淳 ＜令和２年４月＞ 工学士
		測量学実習
兼任	講師	藤澤　徹 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		環境共生創造論
兼任	講師	岩田　剛彦 ＜令和２年４月＞ 修士（建築）
		デザイン図法
兼任	講師	杉浦　清 ＜令和２年４月＞ 工学士
		デザイン図法
兼任	**講師**	**中島　規博 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）**
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	**講師**	**曽田　一雄 ＜令和２年４月＞ 工学博士**
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	**講師**	**阿武木　啓朗 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）**
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	**講師**	**半田　祥樹 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）**
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

■教育効果向上のため、以下のとおり担当科目を変更。
・三宅克英教授に「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」を追加。
・小塩達也准教授及び片桐誠之准教授に「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」を追加。

■時間割編成の都合により、以下のとおり担当科目を変更。
・三宅克英教授から「環境倫理」を削除。大野波矢登講師（兼任）に「環境倫理」を追加。
・吉村晶子教授に「環境創造工学概論Ⅰ」「環境創造工学概論Ⅱ」を追加。杉山範子講師（兼任）から「環境創造工学概論Ⅰ」を、冨樫聡講師（兼任）及び石松丈佳講師（兼任）から「環境創造工学概論Ⅱ」を削除。
・松村昌紀教授（兼担）、木岡一明教授（兼担）及び村瀬勇介准教授（兼担）から「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」を削除。板橋一雄教授（兼担）及び吉久光一教授（兼担）に「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ」「基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ」を追加。
・江尻典雄教授（兼担）から「微分積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」を削除。土田哲生教授（兼担）に「微分積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」を追加。
・大西良博教授（兼担）から「線形代数Ⅰ」を削除。
・田中義人教授（兼担）から「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を削除。日比野隆教授（兼担）に「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を追加。
・田中義人教授（兼担）に「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」を追加。村手宏隆講師（兼任）から「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」を削除。
・齊藤毅教授（兼担）から「地学Ⅱ」を削除。居川信之講師（兼任）に「地学Ⅱ」を追加。
・鍛治俊輔准教授（兼担）から「数学基礎演習Ⅰ」を削除。
・許斐豊准教授（兼担）から「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
・内村佳典助教（兼担）から「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を削除。中島規博講師（兼任）に「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を追加。
・本田真己助教（兼担）に「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を追加。
・松本拓也講師（兼任）から「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」を削除。曽田一雄講師（兼任）に「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」を追加。
・鏡裕行講師（兼任）及び中野拓哉講師（兼任）から「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を削除。阿武木啓朗講師（兼任）及び半田祥樹講師（兼任）に「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を追加。

■開講クラス数の変更により、以下のとおり担当科目を変更。
・中村栄造教授（兼担）から「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ」を削除。
・江尻典雄教授（兼担）から「微分積分Ⅰ」を削除。
・橋本英哉教授（兼担）から「微分積分Ⅱ」を削除。
・土屋文教授（兼担）、坂東俊治教授（兼担）、小澤理樹准教授（兼担）、大久保敏之助教（兼担）、佐藤俊郎講師（兼任）及び片岡啓介講師（兼任）から「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「物理学演習」を削除。
・日比野正樹准教授（兼担）から「線形代数Ⅱ」を削除。
・森口舞助教（兼担）に「社会科学基礎Ⅰ」「社会科学基礎Ⅱ」を追加。
・星揚一郎講師（兼任）から「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」を削除。
・内山明講師（兼任）から「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」を削除。
・岡智美講師（兼任）から「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」を削除。
・片岡紀智講師（兼任）及び北河一生講師（兼任）から「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を削除。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**<u>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**<u>ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
5	5	0	0	10	0	5	5	0	0	10	0
（ 5 ）	（ 5 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 10 ）	（ 0 ）						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
5	5	0	0	10	0	5	5	0	0	10	0
［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｇ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{10} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

―

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等	履　行　状　況	今後の の実施計画
	該当なし		

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜理工学部　環境創造工学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

学部組織として教育改善委員会を設置している。加えて、平成30年度からは各学科FD会議を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育改善委員会は年5回程度開催している。（委員：16名／内訳：委員長（協議員）1名、評価委員長 1名、
教務委員長 1名、学科教員 各1名（教養教育は2名）／令和元年度開催回数：4回／令和元年度出席率：82.8%）

ｃ　委員会の審議事項等

1.初年次教育を中心とした理工学部の教育改善に係る諸課題への対応、2.入学前教育への対応
3.理工学基礎科目教育への対応、4.FD・SDへの対応、5.教育改善に関わる諸事業への対応 等

②　実施状況

ａ　実施内容

・各学科における学修行動調査の実施内容に係る意見交換
・英語学習システム「ATR-CALL」等を用いた「TOEICーIPテスト」へのフォローについて検討
・FDフォーラムの実施について検討
・入学前学習プログラム（名称：MECプログラム）の学部企画内容についての実施体制等の検討　等

ｂ　実施方法

・各学科において、教育上の必要に応じた学修行動調査を検討し、教育改善委員会で意見交換を行った。また、調査実施後の分析についても適宜、同委員会で意見交換を行っている。
・「TOEICーIPテスト」を学生がより有効に活用するために、教育改善委員会から既存の英語学習システムの周知徹底を行い、学生へのフォローを手厚くした。
・学部または各学科において求められるFD教育について意見交換を行い、今後のFDフォーラムの実施内容について検討した。
・MECプログラムについて意見交換を行い、適切なプログラム内容及び実施方法を検討した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

教育改善委員会は年5回程度開催している。（委員：16名／内訳：委員長（協議員）1名、評価委員長 1名、
教務委員長 1名、学科教員 各1名（教養教育は2名）／令和元年度開催回数：4回／令和元年度出席率：82.8%）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・FDフォーラム等により、教員の授業改善につながる話題提起を行っている。
・授業改善アンケート等の実施方法から実施内容の有効性を検証し、授業改善につながる取り組みの更なる充実を図っている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

大学全体の教育改善に係る推進組織である、大学教育開発センターが主体となり、全学部で前期及び後期授業終了時に授業改善アンケートを実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

授業改善アンケート結果は報告書として取り纏め、本学webページで公開している。また、教員別調査結果は冊子等を各学部事務室に配布し、教員・学生が閲覧可能である。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、科学技術や文化の発展に伴い生活水準が飛躍的に向上した一方で環境の持続性が危ぶまれる昨今において、わが国が目指す「持続可能な経済社会システムの構築」への更なる貢献を目的に「理工学部環境創造学科」の理念を継承しつつ、従来の「工学」の教育課程を土台とした先端的学問領域としての「環境工学」に特化した学科として設置され、環境に携わる技術者・研究者の養成を目指すことを目的に以下の取り組みを実施した。

【学生募集・入学者選抜】
オープンキャンパス・入試説明会等を行い、受験生・保護者及び高校教員等への本学科人材養成目的及び教育課程等の周知・浸透を図った。その結果、令和2年度は入学定員80名に対し、出願者数723名（内訳：一般入試655名、推薦入試68名、特別入試0名）、受験者数707名、合格者数274名、入学者数79名、入学定員充足率0.98倍であった。次年度以降も入学定員充足率が1.00倍に近づくよう、適切な合格判定を行うとともに、本学科の教育課程等の浸透に向けた広報活動を推進する。

【履修指導】
新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新入生オリエンテーションを中止した。本来であれば新入生オリエンテーションで人材養成目的及び教育課程等を詳細に説明し、体系的に設定された教育課程を効果的に学ぶための履修指導を行なうところを、学生便覧及び本学webページでの説明並びに、問合せに対する個別支援等の対応を行った。そのため、学生が入構可能となった時点で補足説明を行う予定である。(方法は検討中)

【教育課程編成・実施】
教養教育は、人文・社会・自然科学、語学、情報技術、体育等の科目を体系的に学修できるよう教育課程を編成・実施している。専門科目は、3つの教育研究分野に本学科専任教員（エネルギー・資源循環分野4名、環境共生分野3名、人間活動環境分野3名）を配置し、当該教員を中心に各分野が抱える諸問題の理解・対応に向け、各講義形態を適切に組み合わせた教育課程を編成・実施している。各科目の教育課程における科目内容等の妥当性は、受講率・学修習熟度・授業改善アンケート等から検証する。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

ｂ 公表方法

本学は開学100周年にあたる2026年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026（通称：MS-26）」を踏まえ、法人全体及び各部署版の毎年度の事業計画を策定している。各事業の進捗状況は「MS-26推進室」において確認・評価され、次年度以降の事業計画の立案に反映されている。法人全体の「2019年度事業報告書」は、令和2年7月頃に本学Webページに公表予定である。（例年、5月開催の理事会で確認の後公表しているが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い日程を後ろ倒しした。）

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価（第三期）を受審予定である。
・第二期評価は平成27年度に受審し、適合認定を受けた。指摘事項については、改善報告書を令和元年7月に提出した。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和２年度）

ａ　公表予定の有無　　〔　　有　　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　〕

ｃ　公表方法　　〔　ウェブサイトへの掲載　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。